

品目分類：作物，技術分類：栽培技術

青果用サツマイモ「べにはるか」の優良系統「べにはるか1号」		情報分類	普及情報
〔要約〕「べにはるか」の優良培養系統として「べにはるか1号」を選抜した。種いも継代に比べ、「べにはるか1号」は、いもの外観が良く、収量も多い。			
大隅支場園芸作物研究室		連絡先	0994-62-2001
普及対象地域等	県内の青果用サツマイモ栽培地帯	普及見込面積等	100ha

〔背景・ねらい〕

本県の青果用さつまいも奨励品種は、「ベニサツマ」と「べにはるか」の2品種で、「ベニサツマ」では優良系統が育成されている。一方、「べにはるか」は、近年、産地育成に伴い栽培面積が増加しているが、収量の低下や形状の乱れ、内部品質のばらつきの生産上の問題が生じている。このため、現地から優良な培養系統の育成が望まれている。

〔成果の内容・特徴〕

1 選抜系統「べにはるか1号」の特徴

- (1) いもの形状は紡錘形で、揃いが良い。皮色が濃く、曲がりやくびれの発生が少なく、外観が良い(表1)。
- (2) 肉色は種いも継代と同じ「黄白」で(表1)、ブリックスも同程度である(表2)。
- (3) 上いも個数が多く、A品率も高いため、上いも収量およびA品収量が多い(表2)。
- (4) 一株個数はやや多い。肥大性に優れ一個重もやや重い(表2)。
- (5) ウイルスフリー苗から生産したいもを種いもとして使用した場合、再汚染等により収量・品質が年々低下するため、青果用途ではウイルスフリー苗を毎年更新する(図1)。

2 「べにはるか1号」の来歴

- (1) 茎頂培養：平成18～19年にウイルスフリー系統を園芸作物部野菜研究室で作出した。
- (2) 系統選抜：平成20～27年に大隅支場において系統選抜し(図2)、平成26～27年度は南薩地域で現地試験を実施した。これらの試験において、形状が紡錘形で外観が優れ、栽培日数を延長した場合でも形状の乱れが少なく、ブリックスが安定して高い「九2」を選抜し、これを「べにはるか1号」とした。

〔成果の活用面・留意点〕

1. 「べにはるか1号」は原々種として、試験管苗で供給する。
2. 「べにはるか1号」の種苗生産にあたっては、農研機構九州沖縄農業研究センターと「べにはるか」の使用許諾契約が必要である。

[具体的なデータ]

表1 塊根の形質

系統名	上いも外觀						肉色
	形状	揃い	皮色	曲がり	くびれ	裂開	
べにはるか1号	紡錘	中	紫紅	中	中	無	黄白
種いも継代	紡錘～やや長紡錘	中	赤紅	やや多	やや多	無	黄白

注) 1. いもの揃い (5段階評価): 優, やや優, 中, やや劣, 劣
 2. 曲がり, くびれ (5段階評価); 少, やや少, 中, やや多, 多
 3. 平成23年～26年のマルチ栽培, 栽培日数約140日で行った試験の結果

表2 上いも, A品の個数と収量および蒸しいものBrix

系統名	上いも		A品		A品率		上いも		蒸しいものBrix
	個数 (個/a)	重量 (kg/a)	個数 (個/a)	重量 (kg/a)	個数 (%)	重量 (%)	一株個数 (個/株)	一個重 (g)	
べにはるか1号	1,643	280	864	125	53	46	4.6	172	12.5
種いも継代	1,415	228	607	89	43	40	4.0	160	12.7

注) 平成23年～26年のマルチ栽培, 栽培日数約140日で行った試験の平均

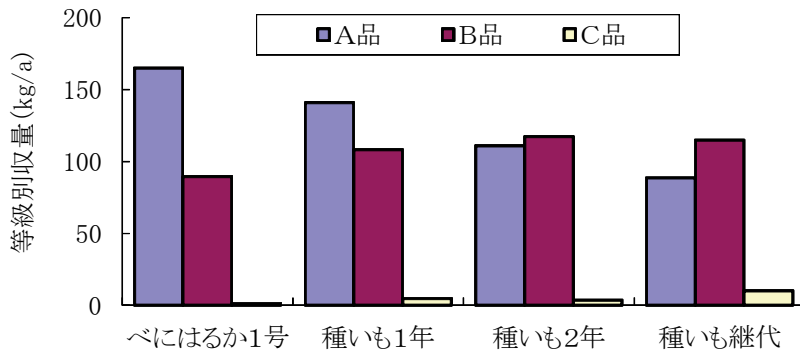


図1 ウイルスフリー系統「べにはるか1号」とその種いも由来苗の等級別収量 (平成24年早掘マルチ, 4/25植え, 9/14収穫)

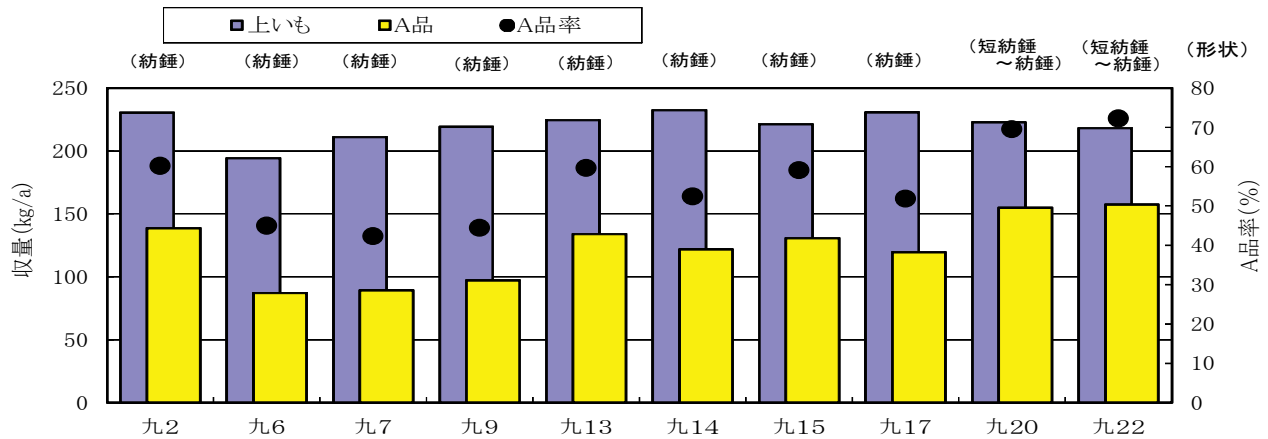


図2 「べにはるか」ウイルスフリー系統の収量性 (平成21年早掘マルチ, 4/22植え, 8/21収穫)
 注) 「九2」を「べにはるか1号」に選抜した

[その他]

研究課題名: 野菜のバイテク手法による優良系統育成試験

予算区分: 県単

研究期間: 平成27年度 (平成18年～27年度)